

2014年10月3日

## 世界最大記憶容量の3.5インチハードディスク量産開始

—世界最大容量 8TB の HDD に採用—

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）が生産・販売するハードディスクが、現行（注1）では世界最大容量 8 テラバイトのハードディスクドライブ（以下、HDD）に採用されました。

採用されたのは、当社が世界に先駆けて 2005 年に生産・販売を開始した垂直磁気記録方式（注2）の 3.5 インチハードディスクでは第 7 世代（注3）となる製品です。

パソコンや DVD レコーダーなど、デジタルデータの記録に広く使用されている HDD は、今後、クラウド化の進展によるデータ生成量の増加に伴い、特にデータセンター向けの出荷の増加が見込まれます。HDD の主要構成部品には、データの書き込み・読み出しに使用されるヘッド、ヘッドの位置決めなどに使用されるモーター、データを記録するメディアがあり、メディアは年率 3%前後の成長が期待されています。

当社は、世界最大のメディア専門メーカーであり、世界の約 4 分の 1 のシェアを占めています。HDD の記憶容量を左右するキープーツであるメディアにおいて、当社はこれまで世界最高クラスの製品をいち早く市場に投入してまいりました。今後も“ベスト・イン・クラス”をモットーに、メディア事業のさらなる強化を図ります。

当社は、中期経営計画「PEGASUS」フェーズⅡにおいて、ハードディスク事業を黒鉛電極とともに当社グループの飛躍のための両翼の一つと位置付けています。当社は、今後も世界最大のハードディスク外販メーカーとして、大記憶容量のハードディスクの安定供給に努め、質・量の両面においてお客様のご期待にお応えしてまいります。

以上

（注1） 2014年10月3日現在(当社の調査)

（注2） 垂直磁気記録方式：ハードディスク記録容量の大幅な拡大を可能にする技術。従来の面内記録方式がディスク面に水平に磁気を記録するのに対し、垂直磁気記録方式は縦方向に記録するため、記録密度を大幅に高めることが可能。

（注3） 当社の垂直磁気記録方式ハードディスクは、記録容量に応じて次のとおり区分しています。

	2.5 インチ	3.5 インチ
第 1 世代	80	160
第 2 世代	120	250
第 3 世代	160	334
第 4 世代	250	500
第 5 世代	334	750
第 6 世代	500	1 テラ
第 7 世代	670	1.1~1.3 テラ

\*1. 単位：ギガバイト/枚

\*2. 1 テラバイト=1000 ギガバイト

◆ 本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235

